

# しばられた毘沙門天さま

—— 那珂市飯田

江戸時代末期のことです。那珂市飯田にある法満山一乗院の毘沙門天立像がかなり傷んでいたため、大工さんに修繕を頼むことにしました。

大工さんは、毘沙門天さまを修理するために立像のお腹のあたりに縄をかけてしばり、作業を行いました。そして、仕事が終わったそのままた家に帰りました。

すると、大工さんはその晩からお腹が痛くなり、連日苦しむようになりました。医者に行っても原因はわかりませんでした。それから数日後、大工さんはお腹が痛いのを我慢して、お寺に来てみると、毘沙門天さまのお腹に荒縄がかかったままになっていました。大工さんはあわてて、この縄を取り除き、毘沙門天さまに「本当に申し訳ありません」とお詫びしました。



すると、いままで何日も苦しめられた腹痛が、ウソのようにぴたりと治まったのです。そのことに大工さんは驚き、不思議に思いました。

「俺の腹が痛くなったのは毘沙門天さまのお腹に、荒縄をかけたつばなしにしたから罰が当たったんだんべえ。あの日、ほどこいて帰ればよかったのに、うっかり忘れてそのまま帰っちゃったから、俺の腹も痛くなったんだんべえ。」と大工さんはしきりに感心したそうです。

この仏像は、現在も一乗院の毘沙門堂に安置されており、県の文化財に指定されています。また、平成十九年には日本一大きな毘沙門天像が建立されました。

一度お参りにいってみたいかがでしょうか？

〈参考文献〉那珂町の民話（那珂町教育委員会編）



【問い合わせ】法満山一乗院 電話：029-298-0533  
【アクセス】那珂市飯田1085(常磐道那珂ICから1km、車で約3分)

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社**

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>